京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十錢
月曜日及び祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金十錢▲新聞紙特別廣告五號活字詰一行金七十錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久勝一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話大大三番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

寄書

スカンヂナビヤ十年間の見聞

在瑞典ストックホルム　三浦彌五郎

本篇は元京城理事官にして目下瑞典ストックホルムに駐在する三浦彌五郎氏が記者の許に贈り越されたるものにて一讀スカンヂナビヤの事情を知悉し得ると同時に在半島官民の參考となるべきもの尠なからず、因つて特に本紙に連載して之を公にすと爾云ふ（記者識す）

一、地理上スカンヂナビヤ半島と稱するときは瑞典、諾威の二ケ國に限れども之に丁抹を加へて政治上スカンヂナビヤの三國と稱す芬蘭は百年前までは瑞典の領土にして其の人民の大部分は依然芬蘭語、瑞典語を用ゆれどもスカンヂナビヤ諸國の内には之を算入せず、芬蘭に就ては幾多未決の問題伏現存し其の研究は比較的文化の低き國が其威力によりて比較的文化の高き異人種を併合したる場合に如何なる現象を呈するものなるかの好適例を供する點に於て永久の興味を失はざるべし、御承知の通り露國は獨特の廣軌鐵道を有するも彼得堡の北の停車場より分闌の汽車に乘り込むときは忽ち歐洲普通の軌道に改まり露國の汽車の緩漫なるボーイの代りに分闌女子の車内に在りて甲斐々々しく働き居るを見るべし、露貨ルーブルは通用せざるにあらざるも分闌はマルクと稱する特種の貨幣を使用し居りて馬丁の如きは其貨幣にあらざれば受取ることを快とせず朝鮮より來りたる予より見れば百年前に領有したる僅々三百萬人の芬闌が百年後の今日に於て猶且つ此の如く不融和の狀態を脱する能はずんば所謂同化の問題も蘇爪もあつたものにあらずとして寧ろ露國政府の高壓政策に對し幾分の同情を禁ずる能はざりし次第なり然るに又翻て文化の實況如何を比較するに例へば分闌の首府ヘルシングフォールスの如きは彼得堡、莫斯科等に比すれば固より小市街には相違なきも其の街路其の公園、其の學校病院より家屋建築物等の一般に清潔にして整然たる其のホテルに宿りて遙かに心地好きを覺ゆることは等は爭ふべからざる長所なりとす、又露國のジユマは開設日尚淺きが故に立憲制度の運用は未だ大に發達の境遇に進まざるも分闌の國會は昨春の議員選擧に於て確か九名の女子議員を有するに至りたる程にて政治上及社會上の狀態露國本部に比し概して一段高度の進歩を示し居るもの丶如し、翻に露國は國防上の理由に依り分闌の露郡に接する二郡を割きて露國の行政區域内に移さんことを提議し分闌人は之に反對して相互の間議論を戰はしたることあり、又分闌鐵道の幹線を露國と同一軌道に改築せんとの説もあれども其の實行容易ならざるが如し實情斯くの如くなるを以て露國の分闌に臨むの難易を以て之を帝國の朝鮮を統治し同化するの難易に比すれば兩者の間餘程の間隔あるを知るべし

●行政改革と人材登庸（中）

森松南投

果して然らば國家行政の運用は專ら之等屬吏の進退擧措に係るものにして所謂行政改革の根底は、先づ此處より發足せざるべからず、換言すれば國運を伸張し、民生を發達せしむるの直接條件は、之等末輩屬吏の智能を扶殖啓發し、殿に其臧否を黜陟して、汎く人材登擢の眞意義を懲らざるの一事にあるを知らざるべからざるなり。

然るに從來世の之を論ずるもの徒らに彼の抽象機關の理想にのみ馳せて思を玆に致さず、彼等を視ること宛然一個の器械の如く其任免黜陟の如きに至りては簡單なる任用令の形式と、上長の一顰一笑に任じて敢て顧みるなきは吾人實に甚大の憾みなきを得ざる所なり。

夫れ事の成否は人にあり、社會百般の現象は總て人爲の如何に依て判定せられざるは無けん、人材の銓衡は玆に於て正しく國本の大義なりとす。

顧て惟ふに方今官界の各級を貫流せる脈絡系統は、截然として隨所に色彩せられ、彼の流耆任命、知故推挽は將に人材登用の一面を形成し、世人も又視て以て其常例となすに至れり、而して之れが必然の結果は則ち朋黨々引して他の才を忌み能を嫉み互に相排擠するに至るは古今の常軌にして吾人の所謂下僚末輩程其弊資を醸生し易し、如斯現象は、邦家の爲め寔に憂ふべきものにして決して遺材を畎畝に抜き、賢庸を物色して違はざる所以にあらざる也、何となれば斯かる輩に限り獨立自矜の念薄く動もすれば權勢を弄し、只管上長の情を失せざらんことを惟努めて執務の謹嚴を藐視するに至るべければなり。

若夫れ寅縁相倚り私情相交りて苟も才幹擢出の路を蔽ふことあらんか、所謂鷄鳴狗吠の徒此より跋扈し、直實誠懿なるもの影を潜めて、一般向上自彊の風は之れが爲に廢絶し、官場の精神遂に滅却せらるゝに至らんこと必せり政務の進運を蠹毒する豈に之より甚だしきものあらん哉。

外事一束

▲獨逸● 諸新聞日本諸新聞の論評が排獨的なりとて一齊に劇烈なる攻擊を爲す
▲健康● 勝されぬの故を以て歸國中の駐清露國公使は愈々其職を辭すに決す
▲土國● 伊がトリポリ合併宣言を撤する迄戰爭を繼續すと首都新聞に宣言す
▲佛國● に大暴雨あり海岸及内地の損害頗る重大に各河川は著しく增水せり
▲英國● 海軍省倣に各倉庫に軍需品を充實する爲め目下頗る多忙を極むと云ふ
▲政府● 馬尼拉の步兵五百を派し清國鐵道守備に充んと命し駐清米公使謝絶す
▲上院● 委員會に於て首相と意見の衝突を來し佛國外相セルヴ氏辭職したり
▲群島● パーシング附近に遭難の米驅逐艦マリアン行方不明となりたりと云ふ

梁川庄八

第七十七回　小金井蘆洲演

主『そこで武州八王子横山町の亀屋と云ふ旅籠屋へ取て返した代官大久保三右衛門様に右の趣を訴出で御検視を願ひました、所が豫て詮議中の賊だとか云ふことで別にお咎もなく又齋藥屋才助と云ふ方は、神妙の働きなりとしてお代官様のお褒に預り丸屋さんも身延参詣お構ひなしと、斯うなつて何で日數七八日も掛つて落着致したそうでございます、是れも身延のお祖師様のお利益だから能くお禮を申上ねばならんと、齋藥屋さんと御同道で手前方へ一泊致したのでございます、ヘッ、

勇『成程ッコで丸屋さんは其才助と云ふ御仁に金子でもお禮に差上ましたか　主『御意でございます一献差上げたいと云ふので手前方へ特別の御注文でございますから酒肴も精々吟味致して手前も其席に參つて居りました所が其齋藥屋さんはなか〳〵潔白な方で、身延山へ御奉納の吹替金の内二百両、是れは誠に輕少だが寸志までにと云て丸屋の御主人が差出しましたが少し御立腹の体で理責めでの、御理解なか〳〵請取る氣色が御座いませぬ、ソコデ丸屋さんもアベコベに理解を喰ふやうな譯で赤面の體、如何にも氣の毒に思ひましたから、手前が仲裁して漸との事で百両けだ請取つて貰ひました、手前も長年客商賣を致して居りますが、彼のやうな潔白な御仁は何うも珍しうございますな、ヘッ貴方さまは又如何云ふ譯で其事を私に御尋問になりますか　勇『甲府の御町奉行所から何かお宅へ御問合はございませんか　主『ヘッ何でございますか　勇『町奉行様から御問合せはございませんか　主『イーエ何か椿事でも出來致したのですか　勇『椿事も椿事大變な椿事でございます斯う〳〵云ふ次第で私が危難を救はれまして、其夜私方へお泊になつたのが、其人の災難となりました、其次第は私は生憎不在でありましたが、夜中賊が忍入り親父が殺されましたので夫れが其仁の身に掛るお疑ひとなつて、甲府のお町奉行下總守様のお調べとなり、只いままでは牢問拷問の呵責を受けて居るやうな譯で其夜私の親を殺した罪人は何處までも、其才助と云ふお方だと云ふ上のお見込が立て居ります』と始終の話を聞て太田屋の主人は呆るゝ許りに驚きました　主『エー夫れは何うも思ひも寄らぬことでございます、天下晴れて申請くべき程の鑄金をも受けぬ程のお方が人の生命を縮めて金を取るなんて、そんな惡心のある筈はございませぬ、夫れは私が請合ひます、何うして又そんなお疑ひが掛つたのでございませう　勇『それはね太田屋さん刀に血祭骨傷があります、夫れから二百三十六両と云ふ所持金の中に鑄替金が百両あります、齋藥賣風情にしては所持金が多い、殊に鑄替金を持て居らう筈がないと云ふやうな所から其夜の盜賊人殺は其方に違ひないと斯う云ふた役人の御見込……』主『エーそれは怪しからぬ見込だ血祭骨傷は斯う〳〵云ふ譯、又鑄替金は斯様〳〵……』勇『成程才助さんも血祭吹替金に付ては太田屋吉左衛門と云ふ、旅籠屋の主人が精しく心得て居るから、お呼出の上お取調を願ひたいと申しました所が上役人の言葉には夫れは上を偽ると云ふもの其方は此場に臨んで日數を費し公儀にお物入を掛けて毎日〳〵と日を送るうち、逃走でも企てやうと云ふ野心なのであらう、夫れは盜賊の慣手段だ不屆至極な奴だ斯る明白の證據あるからは、最早引合人を調ぶるに及ばぬ牢問拷問に掛けても乾度白狀させるさ云つた、すると才助さんもなか〳〵利かないお方で、グーの、音も出ないまでに役人を遣り込めたものですから、お町奉行は大府立腹して其後は毎日の牢問拷問大方責殺さうと云ふ思召だろうと云ふ噂もあります、私も再度助命の儀を願出でましたが、少しも御採用がなく却つてお叱を蒙る様な、次第柄そこで實は今日お宅へ内々に尋ねに参つた次第でございます　主『何うも怪しからぬ譯でございます、お奉行様が勝手な御見込御自分が遣り込められたからと云つて責殺さうとは實に御無態ですな　勇『然うです何とも云ひ様のないお上様です　主『併し何とかして彼のお方を助ける工夫はありますまいか』勇『私には助ける工夫が付て居ます、恐入りますが御番所入費は幾許でも私の方で辨じますからお前さんが證人だと云つてお訴へ下さいませぬか

東京電報

▲塚本中將危篤

第九師團長塚本中將は豫て病氣の爲め引籠靜養中の處昨今愈重態に陷り危篤に瀕せる旨其筋へ電報ありたり

▲二參謀の清國行

高山大佐及嘉悅中佐が今回參謀本部附を命ぜられたるは時節柄最も注目すべきものにして兩氏共特別任務を帶び清國の某方面に派遣を命ぜられ近々東京出發渡清すべし

▲北清の我艦隊

吉松海軍中將の率ゆる第二艦隊の全部は渤海灣及北清一帶の警備に任じ常盤鈴谷二艦は旅順に磐手艦は大連に音羽艦は芝罘笠置艦は秦皇島に各碇泊警備中なり

▲中清警備軍艦

中清警備中の第三艦隊所屬艦中須磨及び驅逐艦東雲は汕頭に驅逐艦薄雲は厦門に霞は福州に新高和泉千代田宇治鳥羽伏見隅田最上千早龍田の各艦及び驅逐艦初霜神風更衣響敷浪卷雲の各隻は何れも長江流域警戒中なり

上海特電

▲皇族に向け勸告

在上海の外商は皇族親貴に向けて皇帝の退位を迫り各皇族は速に政治界より退隱して可なりとの勸告狀を發せり

▲清帝退位說

清國皇帝は兩三日內に退位あるべしと傳へらる

▲又々休戰延期

官革兩軍の休戰は十五日より更に一週間延期せられたり

北京特電

▲清帝哀電を發せらる

清國皇帝は動亂終熄の期なく財政終に窮乏し帝室の資財漸く涸渴せんとし其運命の程も測り難く或は共和政體と爲し或は君主政體とするも結局皇帝の威嚴失墜し困難を加ふるは悲嘆に堪へざるを以て豫て清國と親善なる關係ある某々國に對し特に哀を乞ひ一に帝室保全の爲め一に國家の安泰を計らんが爲め其盡力を切望せらるゝの御親電を發せらる

▲親貴の心膽を寒からしむ

北清及び東三省各地の統制官は北京禁衞軍と共に革命軍討伐の意見を持し居れるも度支部より軍費の支給不足を告げ官吏及び清朝貴顯の資財乏しく加ふるに吝嗇甚だしく殊に皇族は清朝創建以來庶民の膏血を絞り巨額の私財を貯へたるものなり然れば今日の危急存亡に際し其蓄財を醵出するは當然なり若し然らざれば我々は他に期する所あるべしと脅迫し親貴の心膽を寒からしめたり

▲媾和使再任

梁士詒媾和大臣として近く上海に赴くべしと

▲皇族密議を凝らす

清國皇帝の退位問題は既に袁世凱の手を離れ皇族自身に於て處決すべき問題となりたるを以て昨今各皇族は之に對し密議を凝しをれり

▲勃海灣の風雲

革命軍北伐軍艦派遣と共に勃海灣頭は風雲漸く急なるものあり各國は適宜の處置を執り目下警備に心を傾けをるも各列國は英の威海衛獨の膠州灣を除き其他は根據地を有せざる關係より一隻の艦艇をも配置し居らず日本海軍にのみに賴つて警戒されつゝあり

▲米兵の到着期

非律賓より派遣せられたる米國の步兵一隊馬匹八十頭はローガン號にて十九日朝秦皇島に到着の豫定なり

▲北伐革軍上陸 上陸地點

運送船三隻に分乘し軍艦二隻に護衛せられをる革軍の北伐軍は十五日夜大孤山附近の某地に到着すべく其總司令官は藍天蔚にして藍は上陸後直ちに關東都督と稱すべしといふ

▲北京朝の防戰準備

袁世凱は張鎭芳を北京各所の兵站總監として湖北政前の兵站部を信陽に移し濟南府にも兵站部を設け南京攻擊に便ならしめ大に開戰の準備に着手せり

▲秦皇島中立地運動 革軍

秦皇島に上陸せんとの說あるより北京政府は外務部をして各國公使に交涉せしめ秦皇島を中立地となさんことに力を注ぎつゝあり

▲欒州叛兵塵殺

欒州叛兵は突然官軍に攻擊せられ其全部殺害せられしも官軍は何故か之を秘密に附せり

雜報

●駐劄師團の交代期

來る四月迄に第八師團を交代歸還すべき現駐劄第二師團は愈々來る三月始めより第八師團の到着を待つて原隊なる仙臺に輸送を開始す四月迄に全部輸送を了すべしと

●郵便貯金現計

朝鮮總督府郵便爲替貯金管理所に於ける昨年十二月末日現計郵便貯金高は人員十八萬二千七百六十三人金額三百九十三萬五千二百九十五圓にして前年同期の人員十三萬四百十八人金額二百八十七萬四千六百九十八圓に比すれば人員に於て五萬二千三百五十三人金額に於て百六萬五百九十七圓の增加を見たりと

●內務部長會議

既記の如く各道內務部長會議は十五日午前十時より司法部樓上に開會寺內總督山縣政務總監、倉富、石塚、宇佐美の各部長官明石警務總長、菊池、小松の兩長官關屋學務、小原地方、國分人事、鈴木司稅、兒玉會計の各局長以下總督府各課長並に有賀京畿、澁谷忠北、菱田忠南、大久保全北、佐藤全南、齋藤慶北、元木慶南、田中黃海、脇本江原、篠田平南、神谷平北、金谷咸南、帆足咸北の各道內務部長列席總督の一般行政に關する訓示ありたる後總務部主管に屬する各道內務部長の說明あり正午十二時を以て閉會したり

●沿岸航路補助內容

來年度の豫算に於ける沿岸航路の補助金は合計二十四萬八千圓にて此內朝鮮郵船會社へ二十一萬三千圓現行の沿岸航路に一萬八千圓錦江及大同江へ一萬七千圓にて以上の內朝鮮郵船會社及錦江と大同江の補助金は新設に係るものなるが新設の分は何れも本年四月より十二月迄九ヶ月分を計上したるものにて本年一月より三月に至る豫算は明後年に計上する譯なりと云ふ

●徵收に關する通牒

さきに國稅徵收令發布せられ本月一日より施行の結果一般に滯納處分を執行し得る事となりたるが從來滯納處分を執行すること能はざる爲め未納となれる稅金に付ても此際更に同令に依り督促狀を發し尙納付せざるものに對しては財產差押を爲し得るの通牒十五日政務總監の名により各關係官廳へ發せられたり

●農商工部と商工調査

農商工部にては朝鮮の商工事情を調査するため前年來各地商業會議所書記長等に調査を囑託し又は專門家を商工局に聘しなどして商工調査に着手せしが既に調査を終了し既に其第一卷の調査報告を印刷に付し其他は目下校正中なるが多分今年度內に於て全道の調査を終るべく而して明年度よりは經費を縮少して部分的に特種の商工業に關し調査する方針の由なりと

●附加稅の計算方

地稅附加稅の計算上一錢未滿の取扱に關し地稅の年額に附加率を乘じ一錢未滿の時は本稅同樣之を五厘として計算し最切の納期に於て徵收するの通牒發せらる

●香港と朝鮮人參

在香港青木商務官より其筋に報告せし朝鮮產砂人參に關せる一節に曰く香港にて砂人參と稱するものは朝鮮產にあらず清國山東省來陽縣より來れるものなるが如し果して然るや將た又清商が他に競爭を恐れて產地を秘密にせるものなるか分明ならざるも香港にては砂人參は專ら藥品として使用せられ居り一ヶ年の輸入數量約六萬斤其價格三萬六千弗に上り而して目下百斤の相場六十弗なり此輸入數量中香港に於て消費せらるゝは約三千斤にして殘餘は凡て廣東(三萬斤)廣西(四千斤)新嘉坡(五千斤)安南(千五百斤)北海(一千斤)海口(一千斤)澳門(三千斤)等の地に再輸出せらるゝものなり而して香港及び新嘉坡澳門共に砂人參に對しては關稅を賦課せらるゝことなし因に本邦人にして人參の取扱を爲すは三井洋行日森洋行福記洋行にして清商の朝鮮人參取扱店としては乾元行、萬盛興、萬泰機等なり云々

●民團稅制改正 附議

京城居留民團に於ては時運に伴ひ徵稅規則の改正を必要とし已に原案を作成したるが兩三日中に民會を召集し其他二三件と共に之を議決すべしと

●瓦斯料値下計畫

日韓瓦斯電氣會社にては既報の如く昨年十二月一日より電燈料金の値下を行ひ從來一千立方呎三圓なりしを二圓六十錢と改めたるに同月中の電燈申込戶數は二百六十戶申込孔口數六百七十一孔に上り之れを前年同月に比するに前年十二月中の申込戶數は百二十八戶申込孔口數は四百四十七孔にして即ち戶數に於て百プロセント孔口に於て五十プロセントの增加率を示し成績頗る良好なるが瓦斯に至りては四十四年十二月中の申込戶數百〇九戶申込孔口數二百六十七孔にして前年同月の申込戶數は七十八戶申込孔數二百十六孔にして四十四年に於て僅に戶數に於て三十九プロセント孔口に於て二十三プロセントの增加を示すのみなれば瓦斯に於ても亦從來メートル燈料金一千ワット時に付三十錢なりしを電燈料金の値下率と同じく廿六錢に値下げし二月より之れを實行する豫定にして目下考案中なりと

●細民授產

京城府の恩賜授產場にては主として漢江沿岸の農民にして每年冬期に至り何等の收益なき爲め糊口に苦むもの往々あるより此等の細民に冬期中の收益法を授くる目的を以て水原模範場より日人講師を聘し漢芝面、西江面、豆毛面等右沿岸地方の細民各面二十名づつ順次召集し蓙織編、叺製造等藁細工を敎授することゝなりたるが其の第一回講習生たる漢芝面二十名の細民は既に一週間の講習を終るを以て十六日卒業式を擧行する筈なり

各銀行會社營業成績(其九)

明治四十四年下半期

▽漢城手形組合△

…佐藤組合理事の談…

四十四年上半期に於ける漢城手形組合の營業成績は保證總額九十七萬六千五百七十五圓回收總額八十二萬一千八百八十三圓殘額四十五萬四千二百七十圓にして之れを前年度下半期に於ける保證總額八十二萬〇四百十三圓回收總額七十四萬三千二百〇五圓殘額三十六萬七千四百三十五圓に比較するに保證總額に於て十五萬六千百六十三圓回收總額に於て七萬八千六百七十八圓殘額に於て五萬六千八百三十五圓の增加を示し其の成績は益々良好なるを示しつゝあるが同半期に於て保證額の增加を來したる主要原因は金融緊縮と共に市內各銀行共貸出を手控へたる爲め組合の保證を要すること頻繁となりたる結果にして其の保證手形の大部分は木綿斷毛皮牛皮籾買入資金等に充てられ其他清國動亂の爲め鮮人商人が在留支那人より從來の延取引中止され貸金の回收を迫られたる爲め之れに對つて振り出されたるものも尠なからず又た組合利益金は同半期に至り保證料を二厘方引下げ組合員の便宜を計りたる爲め保證額の增加に比例して增額を示し居らず

●商銀と共同倉庫合同

既報朝鮮商業銀行と共同倉庫會社の合同談は荷膽何れも重役會の決議を經て合同に決定し居れるが愈々本月中には株主總會を開きて最後の決定をなす豫定にして共同倉庫の株式三千の內二千五百株は商銀株主の所有するものなれば合同は圓滿解決を告ぐべしと云ふ

●商議臨時總會

京城商業會議所にては十六日午後一時より臨時總會を開き穀物稅移入稅廢止運動の爲め委員を聯合會より東上せしむる件京城市街道路改正に關する商人間の意見を纏むる件等を附議する由なり

●商工調査會總會

商工調査會にては十六日午後一時より會議所樓上に於て總會を開き昨年來調査したる事項を委員より報告し終つて掬翠に於て新年宴會を開く

●模範漁村經營出願

朝鮮海水產組合に於ては鎭海灣方面に模範漁村經營をなさんと兼て調査中なりしが既に昨年末に於て全部實測終了したるを以て此程詳細なる具體的經營書類を添付し其筋に出願せしより遠からず許可の指令あるべしといふ

●水產組合代議員

朝鮮海水產組合に於ては定款變更と共に各道代議員を左の如く撰定せりと

京畿道池末登一郎、忠淸南道岡壽作、全羅北道坂谷城之助、全羅南道石森敬治、慶尙北道梅本庄太郎、慶尙南道香椎源太郎、黃海道畝本重虎、江原道中村太郎左衛門、平南道五島榮藏、平安北道吉田雅一、咸鏡南道中村國太郎、咸鏡北道宗三郎

●京城魚市場の合同

京城水產物市場と日丸組魚市場は今回合併することに決し來る廿日相方合同して總會を開き定款を定むべしと云ふ

●朝鮮銀行移轉期

朝鮮銀行にては來る廿日を以て長谷川町の新築行舍に移轉の豫定なりしも種々準備の都合あり廿八日に延期したりと

●仁川商業役員會

仁川商業會議所にては既報の如く十三日役員會開催し各部長撰擧の筈なりしも出席議員少數の爲め更に會議所より投票用紙を各議員に配付し投票せしむる事に決し尙課金收入調査委員會を開き協議する處ありたり

●十四日間の手形交換

京城手形交換所に於ける一月一日より十四日まで即ち上半月の手形交換高は七千〇四十四枚百六十七萬九千三百五十二圓四十錢にして例年一月は手形交換數の減少を來す時期なりとはいひ本年の如きは甚だ稀にして前年同期に比し稍々增加を示し居るも他例年に比し減少を示し居ると

●第一艦隊仁川入港

第一艦隊安藝、香取、鹿島、三笠の四艦は出羽中將引率し來る十七日鎭海灣より仁川入港六日間碇泊廿二日大連に向ふ筈なりと

●軍司令官の巡視

上田軍司令官には十六日午前九時三十分より柴參謀長、竹本高級副官、二宮法官部長、中林副官を隨へ衞戍監獄及軍樂隊を巡視すべしと

●在監人員の總數

昨年十二月末日の調査による全道在留人員は受刑者八千八百九十名刑事被告人六百九十名合計九千五百八十人にして受刑者中外國人百七人あり前月末に比して十三人の增加なりと云ふ

●最近の籾相場

十二月廿五日の現在に於ける京城外十九ヶ所の全道主產地に於ける籾相場の平均價格は一石五圓六十一錢にして十五日頃に比すれば一石に對し九錢高なりと云ふ

●軍司令官邸の晩餐

上田軍司令官には十五日午後六時より同官邸に柴參謀長以下軍各部部長並に河合主計正山中少佐を招待し晩餐會を開催すべし

●鎭海要塞司令官の入京

松丸鎭海灣要塞司令官の後任として先に任命されたる新任司令官山中茂氏は事務打合せの爲め十四日着龍今十五日上田司令官及柴參謀長を司令部に訪問したり當地二三日滯在赴任の筈なり

●陸軍省經理官會議出席

駐劄軍經理部員黑沼二等主計正は陸軍省に於ける經理官會議に列席の爲め此の程東上したり

●小池主計の昇進

軍經理部員小池二等主計は今回一等主計に昇進し大邱派遣隊付となり來る二十日頃當地發赴任すべし

●元山の電氣會社

元山有志者等は資本金十五萬圓一株の金額五十圓第一回拂込金一株に付十二圓五十錢の元山水力電氣株式會社を設立することゝなり目下株式の募集中なりと

●黃海道臨津江の結氷

黃海道臨津江は此程より結氷し氷上人馬の交通を開始せりと

●總督府吏員法律研究會

冬季休業中なりし大和町東洋協會學校內に於ける朝鮮總督府吏員等の法律研究會は十五日始業式を擧行し各講師の講話ありき

●朝鮮銀行券發行高週報

一月七日より十三日に至る朝鮮銀行券發行高如左

總發行平均高	二三、八五一、六五四
內 正貨準備平均高	八、五九六、九九〇
保證準備平均高	一五、二五四、六六四

公人私人

▲近藤虎之助(漢城銀行水原支店支配人)十三日投宿山本
▲赤尾虎吉(辯護士)同 原金
▲野澤武之助(前法學校長)十四日同 浦尾
▲高田稔(新幕憲兵分隊長)十三日出發新幕
▲不破重衆(度支部事務官)十六日出發東上

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
一月十五日	一二七、九二二、五九〇	三九六

▲治外法權▼

產業開發と口で云ふは易いが、着實行となると之位六ケしい仕事はない、併し幾ら六ケしいからと云つて、如何にしても今の儘で過ごすことは出來ない、ソコで記者の希望は、今後の總督政治は產業政治であると云ふ位に、其全力を產業の開發に傾けて貰ひたい▲記者は寺內總督來任の當初に於て、併合の事業は武斷でヤルも良いが、產業の開發に武斷は禁物だと云ふことを切論した、併し悲いかな、時非にして記者の提論は容られなかつた▲因果は的面、移入の超過、財政の不如意、今日の狀態は丁度磁針の示すところに從かはなかつた船長が其船を暗礁へ乘上げたようなものだ▲時は來る、如何に頑固な船長でも、自分の船が坐礁せるを見ては、サウ落附いて居られぬ、ソコで目下急に眼が覺めたと云ふ格で、船体の浮揚に力を注ぎ始めた▲過日總督官邸の新年宴會に招ばれた某銀行家の曰く、寺內も去年と違ひ、今年は大分顏が柔和になつたと、顏の柔和は寄る年波のセイか、夫れとも心中にユトリが出來たセイか▲何を云ふにも一軍曹から、今日の地位に經登つた、寺內の御前は海山千年の恐るべき代物、其虛々實々の軍略は、到底某銀行家などの解し得る限りでない▲敎育勅語が鮮人へ降り、之れでヤット半島敎育の根本方針が定まつた、ヤレ安心と思つて居ると、此頃は敎育行政者と敎育從事者との間に大分暗鬪が行はれるとの事だ▲敎育從事者と云へば、過日隈本中學校長が五六の不良學生に諭示退校を命じたのは、其ヤリ方が不親切だと或一部に非難の聲が起つた、思ふに不良學生の退校何等校長を責むべき理由はない、只ドーカすると入校の際は普通の學生であつたものが在學中に不良學生と化したことが、校長の責任であると云へば云ひ得ぬでもない▲併し隈本には校長としての言分が相當にあらう、記者は此際同人が其立場と心事とを公にし、他の路ところとならぬ樣用心せんことを望む▲將さに新設さるべき朝鮮郵船に付き世間では日本郵船、及大阪商船の共同事業だなどと噂して居るが、實大商は彼の釜山商船組を造り、朝郵計畫に反對したのであるが、ドー云ふ風の吹廻しか、此頃では中橋の態度ガラリと變せんと、偖こそ過日當地へも運動に來たのだソウだ▲記者朝郵の前途に餘り光明を認めず、而かも苦しい中の補助金をば中橋如きにシテヤラるゝは總督府の名折、知らず當局は彼れの大株主たることを容すや否。

●鴨綠江の橋と氷(九)

天眞生

二日午前八時、眼覺むれば枕頭の火鉢に炭火炎々として紅蓮の焔を吐く、[illegible]階下の應接室に入ればストーブ赤々と火の如けれども室内の氣は水の如し、[illegible]「近來に無い寒さで御座います」と云ふ[illegible]安東縣は大淸明治十三年初めて縣治を敷かれたるもので三十七八年戰役の結果我勢力圈內に入りたるもの、[illegible]新市街即ち邦人街戸數約五百、人口千三百と註せらる、街衢井然として十五間道路を何番通りと呼び八間道路を何丁目と稱ふ家屋多くはバラック式にして殷賑の地多くの空地を見る、其全般より云へば猶ほ未だ荒寥たる一寒村の域を脱せず、結氷期中なれば一日を遅留して見物する程のものは無からんと燕返しに決定す、[illegible]膳部を運び來るに手袋を着けたり、[illegible]

若夫婦の新婚旅行[illegible]少女を案内掛に托して宣川に下車す沿線[illegible]耶蘇教會堂同附屬學校の如き建物を散見すること頗りなり[illegible]服感謝に値す、少[illegible]と相對して兩々淋[illegible]にて大に渦を豊ふ[illegible]贈與を强請し得た[illegible]患はれやしつらん[illegible]以て最も捷徑なりと信じたるなり

●昨今の感冒患者

▽醫學士村上龍藏氏談

昨今非常に感冒患者が多い重に鼻カタ[illegible]然し流行性でなく普通の場合の[illegible]である、一家内の一人が[illegible]感冒[illegible]するに因るので[illegible]三寒四溫な[illegible]變化することや空氣[illegible]室内外の溫度が平均でない、室内は溫突であるとか[illegible]に焚くとかで溫かく[illegible]外に出ると一時に鼻[illegible]云ふ如な寒さであ[illegible]其他は入浴後とか[illegible]罹るのであると云[illegible]氣の無いのも惡い[illegible]適當の溫度(六、[illegible]なことは必要であ[illegible]の際とには衣服を[illegible]ソレは室の內外は[illegible]らであるよく素人[illegible]になるなぞと云ふ[illegible]には肺炎菌と云ふ[illegible]るとコレに犯され[illegible]肺炎にも二種あり[illegible]氣管枝カタル性肺[illegible]で多く小兒や老人[illegible]一ツは纖維素性肺[illegible]炎菌が直接に犯す[illegible]症な人が罹るもの[illegible]が時として戰慄へ[illegible]不意に來るので感[illegible]うなぞと氣にも留[illegible]既に肺炎に罹つた[illegible]七日乃至十日位の[illegible]續けると急に平熱[illegible]んだり咳嗽に運[illegible]る一種の傳染病で[illegible]すべきもので無い[illegible]炎と雖も小兒等は[illegible]ならん中にクロプ[illegible]な生命を失ふこ[illegible]プ性肺炎は例年[illegible]いが本年は至つて少ない熱發中の食事に就ては大いに注意を要することで普通の感冒と雖も粥食と消化し易いものを取り肺炎の際は全く流動物をのみ取る樣にせねばならぬ熱の爲めに消化器が弱つてゐるから消化し難いものを食べると全癒り難いばかりでなく全治後胃腸の疾病を殘すことがある要するに普通感冒に罹つた人が何感冒等なぞと等閑視することは頗る危險であるから姑息の手段を取らずに速かに全治する樣にせねばならぬ(在文責記者)

●ペラボー奴の權助

▽撥ね上つた客は誰

清水席の權助が正月早々主人と衝突して目下雲隱れと云ふ事廓雀よりの報道にて承知して兎耳子他人事と思へぬ程頭痛に病んで探つて見しに皆樣も御承知の通り此妓は昨年六月迄井門本店の抱へなりしが毎々御吹聽申す如く身体のチビなるに似ず一盃飲つたら最後ビキでツカンでる程に膽が据り少し氣に入らぬと誰彼の容赦なく食つて掛るので少々持て餘し氣味であつたが年開き後清水席に住替へテキピ〳〵とした座敷つ振りに一派の粋士連の御贔負を受けて居た正月の二日朝からの飲續けに大分酩酊して居た午後五時頃米倉町の高田家から座敷が掛つて來た權助の平生を知る淸水席の女將は『權ちやん大分出來てる如だが大丈夫かね』と注意せしに『何を云つてやアがるんだい、大丈夫だよ』と乎り人力車を飛ばして高田家に向ひ今晩アリーも型の如く客席に出て雜談中お客も少々酩酊したと見ね『オイ權助お前にでも客が付くか、物好きな奴は手を出さぬとも限るまいなア』と序にお手の筋と云ふ所を食つた權助朝からも酔が茲に一時に破裂したから堪らない、祝模樣二枚襲ねの裾を捲つて『何を、お前にでも客が付くかと、ヘツ一時間七十錢で乙う巾を利かせるない、お前にでも客が付くかと、笑はせやアがらア篦棒奴、ノツペラポウ奴、ホウスケ奴、ズンベラボウ奴、手前にでも嚊がある世の中だい氣の毒だなア、エ、オイ、斯う見ねても此權助にも生命迄もと云ふ奴がザツと數へて五六人はあるんだ、俺の方から此の人ならと思つてるのは數知れずだい憚んながら人を見損うない、此の居變木奴、何が何んだと江戸奴だい、一時間七十錢で權助を買ひ切つた氣が凄まじいや、手前の如な腦味噌の不足野郎はな彈丸でも食つて死んで終やアがれ』と食つて掛られてお客は蒼くなつて震ね上り高田家に對して抗議を申し込む高田家でも驚いて淸水席に抗議を申込みしにぞ淸水席の主人は權助が歸りを待受けて意見を加へたるに今度は主人と衝突し遂に三日の午前二時頃フイと同家を飛び出して姿を見せぬに一同心配して居たる處三日の午後其丸龍姿を泥峴街に現はせしより探つて見ると櫻井町の土木建築請負業松本組の主人に引き取られて居るのと判明したりオイ權助何日までも若くて居やしないのだから少しは愼む方がお前の爲だよ

●新町券番と藝妓

▽口入所に藝妓の宿泊

新町遊廓券番の魂膽は五日付の紙上に報道せし如くなるが尙ほ奇妙なるは藝娼妓周旋所別庄寅吉の看板と新町遊廓組合券番の看板とが並べ掲げあることなり而して同券番に籍を有する藝妓即ち年齡不足の爲め娼妓の鑑札の下らざる妓は大和新町三樹屋より一人新町第一樓本店より一人都合二名第一種藝妓として娼妓同然の營業を爲さず券番内に宿泊す可き條件にて願出で乍ら何れも第一樓及三樹屋に寢食し娼妓同然に自由拘束を受けつゝあり然るに周旋業者たる口入所には男女共に宿泊せしむる事は禁ず可き規則なるに遊廓券番事務所を此所に置き藝妓を宿泊せしむるとは矛盾ならずやなど言ふものあり如何にや

●新快漕丸の座礁

▽乘客荷物等無事

仁川本町仁和洋行取扱ひ汽船新快漕丸登簿噸數二十六噸四は去十二日午前八時仁川發海州に向ひ航行中同日喬桐郡西南方望島冲に於て暗礁に乘上げ船底破壞し浸水したる旨去十四日午後五時頃江華警察署より仁川署に報告ありたるを以て仁川署にては大東丸をして實地調査をなしたるが乘組員は船長松本四郎平外七名乘客十名に荷物百八個搭載しありたるも孰れも同島に避難上陸し荷物も全部陸揚を了し乘客八名は直ちに朝鮮船を以て海州に航行他の二名は尙危險を愼れ乘組員と共に十五日仁川に引返したりと云ふ因に損害等目下取調中なり

●天象子の入京

過去三十餘年間幼にして郷關を去り流離困頓具さに人生の苦楚辛酸を嘗め盡し偶々某禪師の訓戒を受けて飜然悟得するところあり爾來哲學數理等を研究して轉禍招福及び運命開拓の法を自得し之れを江湖に施さんと號する天象子事磯野公彰子は大連より此程入京し十六日より京城ホテル別館に於て人事百般の鑑定に應ずる由なりと

●京城歌留多會

京城日報主催京城歌留多會は十四日午前より花月樓上大廣間に於て開催せられ會員百數十名頗る盛會にて午後九時過ぎ閉會したり

●盜人は雇朝鮮人

昨年十二月三十一日大和町一丁目下宿屋岩永方に於て下宿人今關長藏なる者金側懷中時計外一點(代六十餘圓)の盜難屆に接し犯人搜査を擔當せる長野岸佐藤の三刑事は內部の者に犯人ありと認め內偵中同家屋人金春紅(三二)の擧動不審にして殊に同人が日本婦人を情婦にして內地に歸還せしめたる事を探知し取調の結果日人の所爲なる事判明し尙ほ外數ケ所に於て金品百餘圓を窃取したる事發覺し目下取調中

●危險な使者

中部仁坪坊禁府洞三十二統八戸韓明奎(十九)は本町六丁目五十番戸奧野淺次郎が西部巡洞二十八統七戸洪學順に對し昨年五月頃金八十四圓を貸與したるに對し洪學順より利子金として金三十四圓を數回に支拂を託されしを橫領消費し南部署に告訴され目下取調中

●中の新地から監獄

當地太平町二丁目的野方德島縣人武市長介(二七)は南大門通り藤木雜貨店に雇れ中賣掛代金其他店の金數百圓を橫領し中の新地開盛樓錦糸事藤原ヌイ(二九)に現を拔し浪費したる事南部署佐藤岸長野の三刑事に探知され目下取調中

●由良家席の新妓

廣島市大手町六丁目生れ宮本とよ(十八)は是迄下ノ關稻荷町藝妓置家西村家にて金彌と名乘つて左褄取つて居たが今般京城券番由良家席より市松と名乘りて現はれしが藝名の市松は松秀庵白水の主人が命名せし由にて何分御贔負にとは當人の申分也

●旭町三丁目のボヤ

十四日午前十時半頃旭町三丁目三十三番戸洋服商村上新太郎方より發火せしを隣家の者發見し直ちに鎭火せしが原因は前夜炬燵を入れ寢に付き翌朝午前八時頃蒲團を押入れに入れしが蒲團に火の燃へ付き居たるを氣付かざりしなりとか要心肝要

●龍山の三人强盜

龍山西江面栗島十三統十二戸酒幕業久守方へ十四日午前二時三人組の强盜忍び入り主人を强迫して現金二圓外衣類雜品四十點此價格略四十圓を强取し何れともなく逃走したるより目下龍山署にては犯人嚴探中

●之を戒む酒に有り

岡山縣生れ中井爲介(三二)と云ふは十四日泥醉の上電車に乘り車中にて狂体を演じたる廉により龍山署に引致せられ拘留覺醒の上說諭放還せられたりと

●篤志家木盃下賜

仁川小學校及び幼稚園へ金品を寄付したる岡田組主泉川淸次郎及加來都子の兩人に對し去十三日寺內總督より木盃一個宛下付せらる

●仁川のボヤ

仁川府內面內洞十九統二戸金永有方にて去十四日午後九時三十分家人の不在中釣ランプより發火し鄰板より家根に延燒したるも直ちに宮町消防隊驅付消止む

●賭博の現場を御用

西部盤石坊藥峴金春守(三三)南部養生坊倉洞李淳西(三六)北部壽進坊壽洞金相五(三二)の三名は十四日午前十二時頃賭博の現場を南部署に檢擧され目下取調中

●南部署の擊劍會

南部警察署に於ては四十五年度新年道場開きの爲め同署員一同十五日午後一時より擊劍會を催したり

●演藝だより

▲浪花館 半月も打續きての好評に演者一統舞臺に乘る十六日より木戸揚代半額一等四十錢二等二十五錢三等十五錢に値下げしたりと

▲歌舞伎座 改成義團十六日の代狂言は好に依り宗敎劇『執念の蛇』

▲壽座 十六日の代狂言は前『源平布引の瀧』中『三勝半七』切『浦島太郎』

花柳界だより

▲廓雀餘り惡口が過ぎたので惡戲小僧の空氣鐵砲に狙はれ少々羽根を痛め新町方面の噂を忘りしは何とも相濟み申さず候▲第一樓の二枚君香は花月の若旦那に落籍されて藝妓仲居の總取締となる筈なりしが樓主と[illegible]れ龍とに妨げられ破談となりしに同情せる朋輩娼妓十數人とストライキを起し第一樓內の安寧秩序を亂して見たが一向退樓處分も無いとて落膽して居る▲同樓の月子は猫を冠つて居るがナカ〳〵の怪腕家なるが旭町住の某蚊士は此の妓から六〇六號のお手當を頂戴▲同樓の九重は南山町二丁目の宮田さん……を可哀相にサ▲淸月樓の繁は逆戻つて面と何とかを張店に曝らして居る▲同樓の環は奉天金城館にて鍛ねた腕をブン〳〵▲同樓の綾子は病氣計りして居る不憫な者なり▲次は井門支店(廓雀)

廣告

貧血を憂ひ
虚弱を悲みながらに未だ
蜂印香竄葡萄酒を飲まざる人ありや？
芳醇佳味
精良の滋養に富める本酒は
血を增し
肉を肥し
諸君の身心を圓滿愉快に健全ならしめる無二の藥用葡萄酒なり
賣捌元 東京市日本橋 近藤利兵衛

淺田飴（あさだあめ）
肺病より起るたんせき
咽喉をすゞしく聲を發せしむ
病後の衰弱
貧血性諸症
本舖 東京 大阪 堀内
良藥にして口に甘し
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番一〇六八 振替口座京城十六番

元祖 食パン
菓子パンアンパン各種
總督府各官衙御用
陸軍御用
製造御小賣商 京城太平町二丁目 相川兄弟商會（電話一八九番）
釜山富平町一丁目 相川兄弟商會支店（電話一七六番）

洋藥賣藥 問屋
京城本町一丁目（郵便局前）
山岸天佑堂藥房
電話三七二番
振替二〇三番

醫料理化學器械
京城本町一丁目（府廳前）
同機械部
電話一〇六番

齒科診療
京城南山町二丁目（天眞樓隣 寫眞舘跡）
齒科醫 楢崎東陽
電話千三百六十番

試驗濟 消毒牛乳
牧場直轄
京城永樂町二丁目
京龍牛乳販賣所
電話一七一〇番 一九八八番

物理化學機械
模型標本類
體操及運動具
教具校具一式
測量製圖機械
水彩及油繪用品一式
和洋紙帳簿一切
歐米文房具
非賣 案韓語栞 發賣所
國語指南
朝鮮京城本町二丁目
平田商店 教育用品部
電話一一五番
電信略號（ヒ又ヒラタ）
振替口座京城四六八番

齒科治療
本町六丁目（[illegible]）
ドクトル 中村安子
女子見習募集委細面談
（電話五八三）

M.C.C.
紙卷烟 土耳古
エムシーシー
專賣局定價は白本に付金九圓貳拾錢なるも朝鮮內は大安賣
京城、平壤龜屋……釜山、木浦、群山高瀨支店

最上醬油
高
釀造元
仁川港萬石町
高杉醬油釀造場
電話七六五番

齒科診療
京城本町二丁目三越吳服店前 野田齒科醫院
仁川仲町三丁目本永吳服店隣 野田齒科醫院分院

効能ある温泉
鐵冷温泉
旅館並に浴客席貸
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行北横手）
廣安喜次郎
電話一四一一番

資本金 壹千萬圓
積立金 八百貳拾萬圓
明治六年設立
株式會社 第一銀行京城支店
京城南山町三丁目
電話 一一番 六一一番
振替貯金口座京城一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

東宮殿下御料牛乳
京城博覽會一等賞金牌
洋種乳牛及朝鮮牛賣買
牛皮牛骨の賣買
入院隨意 京城家畜病院
種豚山羊鷄種卵賣買
多木肥料販賣代理店
京城古市町九番戶
朝鮮畜產株式會社
電話八八番

蚊宗 止則 正傳
釀造元
酒 小賣壹升に付三十五錢
味淋燒酎酒並に日用食料品雜貨類
釀造元 京城壽町三丁目 中井酒造販賣部
電話百七十七番
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして御送達致さすべく候

優等清酒
釀造販賣元
仁川港
吉金酒店
（電話一六番）

酒精アルコール
直輸入元
仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）振替口座京城五八二
坂倉支店

眺望の好き事仁川第一なり
陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水產組合指定旅館
第一各保險會社指定旅館
別館には夜警の設備有り
御客樣の安全此の上なし
仁川海岸
旭屋旅館
電話二五一

誠ハ弊店ノ主義也
登録商標
釀造元
仁川山根町二丁目
深見勝三郎
電話二四八番 電信略號（フ）

比較ハ最良ノ選擇法ナリ
優等清酒
櫻正宗
釀造元攝津灘 山邑太左衛門
釀造高貳萬余石
京城明治町二丁目（漢城病院前）
山邑京城支店
電話八四九番 振替貯金京城七五番
市內到ル所販賣有之候ニ付櫻正宗ト御指定御買上被下度候

新荷着
厚板薄物
浪板平板
鐵板各種
各種垣用線
京城本町二丁目
和洋金物商
佐野彥藏商店
電話一六三番 振替口座京城一二〇番

▲月經をつうじ子宮病を全治す
月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病血の道、頭痛、食物進まず、氣分塞ぎ、逆上強く等の病を根治し、血のめぐりを能くす
月經不順
二十世紀の新劑
最良新藥
每月丸
藥價 一日八錢 半週分廿五錢 一週五十錢 二週分壹圓 三週分壹圓四十錢
常に月經異動ある人持藥とせば毒血を下し子宮病に罹る憂ひ更になき良劑也
本舖 大阪心齋橋二丁目 丹平商會本店
支舖 東京日本橋[illegible] 丹平商會支店
▲賣捌は東京市內其他各店に取次す

代理店、京城南大門通三丁目
新井藥房
電話九〇四番一〇六八
振替口座京城十六番

本場精撰
茶

銘茶各種新物續々入荷付に[illegible]御用命願上候
仁川本町四丁目（府廳通）
田中芳春園
電話四五〇 振替京城五〇一

東京流納豆大安賣

御料理向
味噌
仁川本町三丁目
たからや
電話七

キ
一一瀛船出帆
三池丸 鎮南浦行 一月十七日前十時
草梁丸 大連行 一月[illegible]日前十一時
安東丸 芝罘行 一月[illegible]日
三省丸 大阪行 一月十七日前八時
仁川本町四丁目 電話一七三番
合資會社 風間商會 仁川本町二丁目 電話七五〇番
荷扱 船舶荷捌 仁川本町海岸通 電話四一九番
柴田回漕店 仁川本町四丁目 本店 電話五二二番